

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	阿波保健福祉センター浴室棟 阿波地域農産物等活用型総合交流促進施設「あば交流館」
(2) 指定管理者	所在地 津山市阿波1216番地1 名称 一般財団法人 あばグリーン公社 代表者 理事長 大下 順正
(3) 公の施設の所管部署	産業経済部 みらい産業課
(4) 指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
(5) 評価対象期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	阿波保健福祉センター浴室棟 37,612人（前年度39,609人） 阿波地域農産物等活用型総合交流促進施設「あば交流館」 11,574人（前年度10,637人）
(2) 事業の内容	温泉施設, 飲食・宿泊施設の運営・管理及び自主事業

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 62,186千円（前年度65,128千円） 利用料金等収入 50,962千円 指定管理料 10,677千円 その他の収入 547千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 67,972千円（前年度66,326千円） 主な支出 仕入費 14,658千円 人件費 30,091千円 事業経費 23,223千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	温泉の泉質, 温度, 湯量・施設の設備や宿泊サービス・料理・土産物等についてアンケートを実施している。
-----------------	---

<p>(2) 指定管理者の自己評価</p>	<p>平成29年度は、事業項目により収入減となったものが多く、事業収入全体で前年度より減となった。</p> <p>利用者の減少傾向対策として、Facebookによる情報発信、広報や議会だよりなどへの入浴無料券の協賛、LINEによる割引クーポンの発行など、市内・市外双方への情報発信を行った。</p> <p>また、ふるさとまつりやウォーキング大会などこれまでも協力してきた地域イベントに加え、あば村マルシェやあば暮らしの小学校とのコラボレーション企画など、あば地域全体で取組みを進めている新しい地域おこしの試みと連携することにより、「あば村」の一員として、より地域性を活かしていく事業の展開を図った。</p>
<p>(3) 市の評価</p>	<p>経常収益について昨年度よりも大きく減少しており、それに伴い近年縮小傾向であった経常収益費用差が前年度よりも広がっている。温泉設備や宿泊サービスについて実施されているアンケート調査の結果を検証し、利用者の満足度を向上させて新規の利用者やリピーターの確保等に努めてもらいたい。</p> <p>平成27年度から開始したFacebookやLINEといったSNSの活用による情報発信への取組みは現在も継続されており、引き続き津山市内外への広報手段として新規の利用者やリピーターの確保に役立ててもらいたい。また、集客を目指したイベントとして温泉の入浴料を割引く「風呂の日（毎月26日）」も継続されている。今後もふるさとまつりなどの地域イベントとのコラボや、施設の特徴を生かした独自の取り組みなど積極的な施設運営に期待する。</p>

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	阿波保健福祉センター浴室棟 阿波地域農産物等活用型総合交流促進施設「あば交流館」
(2) 指定管理者	所在地 津山市阿波1216番地1 名称 一般財団法人 あばグリーン公社 代表者 理事長 山田 賢一
(3) 公の施設の所管部署	農林部 ビジネス農林業推進室
(4) 指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
(5) 評価対象期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	阿波保健福祉センター浴室棟 33,929人 (前年度37,612人) 阿波地域農産物等活用型総合交流促進施設「あば交流館」 10,204人 (前年度11,574人)
(2) 事業の内容	温泉施設、飲食・宿泊施設の運営・管理及び自主事業

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	57,406千円 (前年度62,186千円)
	利用料金等収入	45,953千円
	指定管理料	10,677千円
	その他の収入	776千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	64,334千円 (前年度67,972千円)
	主な支出	
	仕入費	13,825千円
	人件費	27,946千円
	事業経費	22,563千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	温泉の泉質、温度、湯量・施設の設備や宿泊サービス・料理・土産物等についてアンケートを実施している。
(2) 指定管理者の自己評価	<p>平成30年度は、西日本豪雨の影響（風評被害を含む）で利用者及び収入ともに減少となった。</p> <p>利用者の減少傾向対策として、以前から取り組んでいるFacebookによる情報発信、LINEによる割引クーポンの発行など、市内外への情報発信を引続き行った。また、利用者の利便性向上のため、宿泊者のカード利用を可能にした。</p> <p>ふるさとまつりやウォーキング大会、あば村マルシェとのコラボレーション企画など、これまでも協力してきた各種イベントに加え、台湾ツアーの受入れなど、阿波地域全体で取り組みを進めている新しい地域おこしの試みと連携することにより、「あば村」の一員として、より地域性を活かしていく事業の展開を図った。</p>
(3) 市の評価	<p>利用者数及び収益について昨年度より減少した。西日本豪雨の風評被害が長期に渡った感がある。</p> <p>指定管理期間の最終年度であり、情報発信やサービスの向上について様々な取り組みを行い、また阿波地域で一体となって地域おこしに尽力されている姿勢がみえるものの岡山県の災害の影響が大きく、県外からの利用者数及び収益につながらなかった。</p>

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	阿波地域農産物等活用型総合交流促進施設及び阿波保健福祉センター・浴室棟
(2) 指定管理者	所在地 岡山県津山市山北520 名称 一般財団法人津山市都市整備公社 代表者 理事長 植月 優
(3) 公の施設の所管部署	津山市農林部 ビジネス農林業推進室
(4) 指定期間	平成31年4月1日から令和4年3月31日
(5) 評価対象期間	平成31年4月1日から令和2年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	総利用者数 38,805人(前年度44,133人) (内 訳) 飲食・宿泊等施設利用者数 7,227人(前年度10,204人) 温泉施設利用者数 31,578人(前年度33,929人)
(2) 事業の内容	温泉施設、飲食・宿泊施設の管理・運営

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 47,776千円(前年度57,406千円) 指定管理料収入 13,402千円 利用料収入 31,178千円 受取負担金 2,767千円 その他の収入 429千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 53,040千円(前年度64,334千円) 主な支出 人件費 17,616千円 需用費 20,046千円 役務費 1,224千円 委託料(施設管理) 3,034千円 使用料及び賃借料 1,066千円 負担金 1,903千円 原材料費 6,808千円 備品購入費 46千円 公租公課 1,297千円

4 総合評価結果

<p>(1) 指定管理者の自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの料理プランを作り宴会客等の集客に努めた。また、マイクロバスでの送迎サービスを行い、団体客や遠方からのお客様に対して利便性の向上を図った。 ・地域の交流を目的として阿波ふるさとふれあい納涼星空祭りに出店した。また、利用促進として秋季に開催があったスローライフ列車の乗客へ向けて日帰り温泉入浴プランを作成し、最寄駅から施設までの送迎を行った。 ・Facebook を活用して、利用者へ施設や料理、地域の情報等を積極的に発信した。 ・加茂のめぐみ荘からの料理注文を受け配達を行うことで、増収に努めた。 ・めぐみ荘と入浴共同スタンプカードを導入し施設の相互利用と利用促進を図った。また、入浴客に向け、毎月26日に風呂の日イベントを開催した。 ・7月から9月にかけて、台風の影響により宿泊等のキャンセルや温泉施設の休館が発生した。2月下旬から、老朽化した檜風呂の改修工事により入浴設備を10日間休業した。3月には、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、宿泊・宴会共にキャンセルが発生した。これらのことから、収支は赤字となった。 <p>上記のことから、厳しい経済状況が続く中で、利用者の安全を第一に良好な業務を推進したものであり、次年度では、利用促進を図り、施設の設置目的を果たしつつ収支の改善に努めたい。</p>
<p>(2) アンケート調査の概要</p>	<p>利用者の利便性向上及び施設管理の充実を図るため、入浴客を中心にアンケートを実施した。概ね良好な意見が多かった。</p>
<p>(3) 市の評価</p>	<p>指定管理期間の初年度であり、事業者が近隣地域で運営している本市の指定管理施設との連携を図るなど、新しい施策に取り組んだものの、台風や入浴設備の改修、新型コロナウイルス感染症などの影響から、利用者数及び利用料収入は前年度より減少した。</p>

	<p>令和2年度においても、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための休館措置や県外客の受け入れ自粛、地域でのイベントの中止など、営業に多大な影響を受けているところであるが、施設の設置目的が図られる運営を期待する。</p>
--	---

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	阿波保健福祉センター・浴室棟及び 阿波地域農産物等活用型総合交流促進施設「あば交流館」
(2) 指定管理者	所在地 岡山県津山市山北520 名称 一般財団法人津山市都市整備公社 代表者 理事長 植月 優
(3) 公の施設の所管部署	津山市農林部ビジネス農林業推進室
(4) 指定期間	平成31年4月1日から令和4年3月31日
(5) 評価対象期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	総利用者数 34,059人 (前年度 38,805人) 内 訳 飲食・宿泊等施設利用者数 2,779人 温泉施設利用者数 31,280人 (内、料金免除期間利用者数 14,375人) ※各利用者数の内訳は別紙添付を参照
(2) 事業の内容	温泉施設、飲食・宿泊施設の管理・運営

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 46,016千円 (前年度 47,776千円) 指定管理料収入 17,304千円 継続・再開事業助成金 3,311千円 利用料収入 21,768千円 受取負担金 3,073千円 その他の収入 560千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 46,152千円 (前年度 53,040千円) 主な支出 人件費 15,384千円 需用費 15,534千円 役務費 892千円 委託料(施設管理) 3,918千円 使用料及び賃借料 2,421千円 負担金 1,860千円 原材料費 4,610千円 公租公課 1,533千円

4 総合評価結果

<p>(1) 指定管理者の自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、安心安全に施設を利用していただくことを第一にした管理運営を行った。 ・緊急事態宣言に伴う津山市からの要請により、4月18日から5月31日まで臨時休館し、営業再開後には検温・換気・消毒等の対策を講じながら、適切な施設管理に努めた。 ・利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により前半は激減したが、8月から11月の料金免除期間の集客により、温泉施設利用者数は微減にとどめることができた。 ・利用料収入は、前年度と比較して大幅に減少したが、津山市プレミアム付グルメ券「うまい券」やG・O・T・Oイート食事券等のキャンペーンに積極的に参加し、集客と増収を図った。 ・季節ごとの料理プランを作り宴会客等の集客に努めた。 ・当公社所有のマイクロバスで送迎サービスを行い、団体客への利便性の向上を図った。 ・地域の交流を目的とし、阿波ふるさとふれあい納涼星空祭りへの出店やスローライフ列車の乗客へ向けた日帰り温泉入浴プランにより施設のPRと集客を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。 ・Facebook等を活用して、利用者へ施設や料理、地域の情報等を積極的に発信した。 ・加茂地域のめぐみ荘へ料理の配達を行うことで、増収に努めた。 ・めぐみ荘と入浴共同スタンプカードを導入し、施設の相互利用と利用促進を図った。また、入浴客に向けて、毎月26日に風呂の日イベントを開催した。 <p>上記のことから、厳しい経済状況が続く中で、利用者の安心安全を第一に良好な業務を推進したものと評価する。次年度もコロナ禍が予測されるが、施設の設置目的を果たしつつ収支の改善に努めたい。</p>
<p>(2) アンケート調査の概要</p>	<p>利用者の利便性向上及び施設管理の充実を図るため、入浴客を中心にアンケートを実施した。概ね良好な意見が多かった。</p>
<p>(3) 市の評価</p>	